

定年退職後「溶接現場から毒劇物の追放」を目指して設立

おかげさまで30周年

中性電解法による“ステンレス表面改質技術”のパイオニア

私たちは、“ステンレスにより耐食性と輝きを”をテーマに、小規模ながら超一流を目指してこれまで金属表面処理のパイオニアとして30年の道のりを歩んできました。これからも、ケミカル山本は日本のモノづくりを支え研究開発に努力し続けていきます。



人間は本来、100歳以上の天寿を与えられているのに、むだ遣いしているのだという。彫刻家の平櫨田中さんは、101歳の時アトリエを新築し「60、70は、はな垂れ小僧。男盛りの100から」といったそう。6月で創業30周年を迎えるケミカル山本の山本正登社長も、人生のむだ遣いをしない人である。研究者としてのサラリーマン人生を全うした後、創業したケミカル山本を、ステンレス業界でもっと有名な会社の一つに育て上げた。30年間、新技術を次々に開発、特許を取得し、新製品を毎年のように発売して世に問うた。研究開発型企業は、いまま進化と深化を続けている。

「創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「無害な焼け取り技術の「中性塩電解法」は黄綬褒章の授章技術で、ステンレス業界に広く普及、標準技術にもなりつつあります。ところがこれにとどまらず、新品のステンレス鋼以上の不動態被膜を形成する高度化技術に発展しています。山本 特許を取得、科学技術庁長官表彰を受けた技術となった。具体的には電解法で溶接焼けを除去すると同時に、水の電気分解で陽極に生じる酸素の酸化力で、酸化クロムを主体とする良質の酸素系の不動態被膜を再生する技術だ。溶接部以外の表面改質にも応用できる。ただ、酸素系不動態被膜は海水などの塩素に弱いのが欠点。このため、フッ素を配合した中性の電解液を用いる処理技術に発展させた。これにより耐塩素孔食性を改善する「スーパー不動態被膜」が形成される。酸素系とフッ素系の不動態被膜が複合、ステンレ

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

ケミカル山本 30年のあゆみ

1982	6月	「株式会社ケミカル山本」設立
1986	7月	電解式焼け取り器「NEWステンブライトTY-110」発売
1989	6月	横浜営業所開設
1990	3月	エレクトロシャイナー-W発売
4月		国際ウェルディングショー (JIWS) に初出展
1991	1月	ブランド名「ピカ素」登場
1992	9月	小冊子(Ⅰ)「ステンレス鋼溶接後の表面仕上げとその検査」発行・静岡出張所開設
1993	2月	ウルトラシャイナーシングル&ペアー発売
1995	2月	広島営業所竣工
9月		神戸出張所開設
10月		中小企業庁より「中小企業庁長官奨励賞」
11月		北関東出張所開設
1996	11月	宮内工場竣工
12月		NEWエレクトロシャイナー-S発売
1997	2月	(財)日本発明振興協会より発明大賞「福田特別賞」
4月		科学技術庁より「科学技術庁長官賞」
6月		仙台出張所開設
8月		九州出張所開設
1998	3月	「黄綬褒章」(ステンレスの表面仕上げと検査法)
5月		中国地域ニュービジネス協議会より中国地域ニュービジネス特別賞「環境改善賞」・NEWエレクトロシャイナー-W発売
1999	3月	溶接学会より「溶接技術賞及賞」(溶接業界向けケミカル商品)
2000	5月	NEWエレクトロシャイナー-P2発売
10月		中小企業庁より「中小企業庁長官奨励賞」
12月		広島市より「広島市長賞」
2001	1月	小冊子(Ⅱ)「ステンレスの溶接焼け取り法」発行
4月		NEO#ブライトAC、ビードウェル、ザ・硝フッ酸20発売
2002	4月	特許庁より「特許庁長官表彰」(工業所有権制度有効活用)
10月		中小企業庁より「中小企業庁長官奨励賞」
11月		SUS300N発売
2003	2月	(財)日本発明振興協会より発明大賞「考案功労賞」
4月		中小企業庁「企業未来! チャレンジ21」取材・全国放映
7月		SUSシャインシリーズ発売
10月		スーパー不動態特許成立
2004	11月	特許庁より「特許庁長官奨励賞」
12月		YM式マンガンチェッカー発売(新日鐵住金ステンレス㈱共同開発品)
2005	3月	宮内工場増設工事竣工
8月		NEO#ブライトACW発売
2006	3月	名古屋出張所開設
5月		わくわくケミカルクラブ発足
7月		沖縄高専に曝露試験台設置
2007	2月	(財)日本発明振興協会より発明大賞「発明功労賞」
11月		(社)発明協会より「発明奨励功労賞」
2008	5月	FOOMAJAPANへ初出展
9月		μメーカーP発売
2009	1月	クリエイトセンター竣工
3月		本社事務・営業・技術部門をクリエイトセンターに集約
6月		関東・中部・関西・西日本の4営業所体制発足・スーパーシャイナー-M発売
9月		スーパーシャイナー-R・NEWエレクトロシャイナー-S2発売
11月		ピカ素SUS・S・C・C発売
2010	11月	NEWエレクトロシャイナー-W2発売
2011	2月	ウルトラ不動態特許成立
3月		(公財)日本発明振興協会より発明大賞「考案功労賞」
		NEWステンチェッカー発売



「新技術開発の継続」ス鋼の表面だけでなく、内部まで浸透拡散して耐食性の強化につながっている。素・フッ素・ホウ素の三重効用により、この防止に特効を示す不動態被膜の形成に成功した。夢のようなSUS C C防止効果があることから「ウルトラ不動態被膜」と命名した。化学プラントのリアクター(化学反応を起す装置)、食品工場のプラント機器向けなど、幅広い分野に合点がいく。山本 今

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

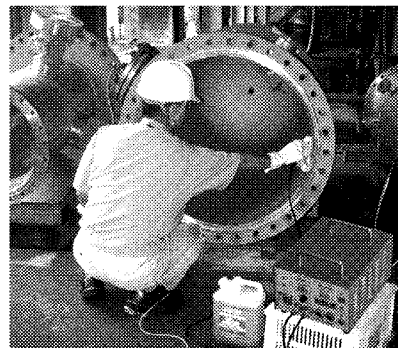
「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「化学を通じて社会に貢献」山本社長自身も現役の研究開発本部長として陣頭指揮を執られていま。幹部社員は皆さんも年齢層は高いものの第一線の研究者として活躍中。これもケミカル山本の特徴です。山本 私の経歴でいうところの大部分は、創業後から、三菱重工を退職した後、技術者に加わって来た。高年齢者といえは高齢者だが、みんな知恵のかたまり。熟練の知識から生まれたオリジナル技術が会社を支えている。一方で、少数精鋭の開発型企業を目指していたが、陣容も40人を超え、年齢バランスと技術継承についても少しずつ手を打っている。新卒採用を始めたのもこのためだ。これまでに人材に恵まれ、コンスタントに特許技術や製品を開発できたことが、国や溶接学会、ステンレス協会、発明協会などから数々の表彰をいただき、30年間肩書きの経

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。



プラント定検時のメンテナンス風景

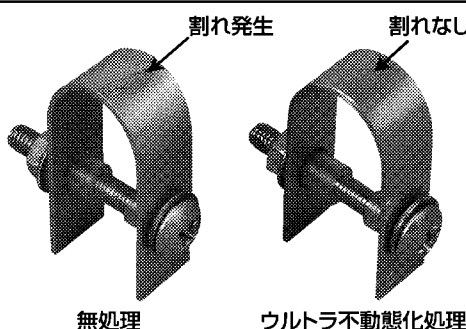
「小冊子贈呈」「不動態化処理に関する書物は、中々目にする機会が少ないうのが現状です。そこで本年(平成23年)1月にプラント設計技師と現場施工の方々向けに、不動態化処理の必携書として「ステンレス鋼の不動態化処理」と題して小冊子を発行致しましたところ、各方面から多大なご好評を博し、この度第2刷の実験データを追加し、第2刷を改訂・増刷することとなりました。ついで、当社創立30周年を記念してご希望の購読者に無料で1冊を贈呈いたす存じます。ご希望の方は送料実費(切手80円)同封の上、会社名・住所・氏名・役職・職種をご記入頂きお申し込み下さい。(但し限定100部とさせていただきます)お申し込みとお問い合わせ先 〒738-0039 広島県廿日市市宮内工業団地1-10 株式会社ケミカル山本 総務部 TEL: 0829-30-0887 FAX: 0829-37-2770

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

「より安全な職場環境へ不動態化法にメス」創業30周年という節目を迎えました。山本 30年や50年の歴史がある会社は珍しくもないが、わが社の場合、私が三菱重工広島研究所を定年退職後の56歳で設立しただけに、少しはめもたらさるかも知れない。起業を決断したのは、ステンレス鋼の溶接後の酸化スケール(焼付)の取りに唯一使用されていた毒劇物「硝酸フッ酸」を溶接現場から追放したい一念だった。いまま、この「中性塩電解法」を開発した「劣悪な労働環境からの解放」という創業精神は変わらない。

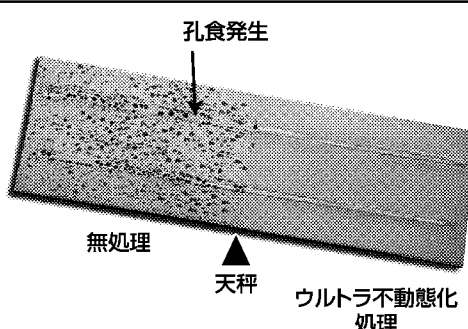
SCCの問題解決に! ウルトラ不動態化



JIS応力腐食割れ試験

(A法B法ともに確認済み)

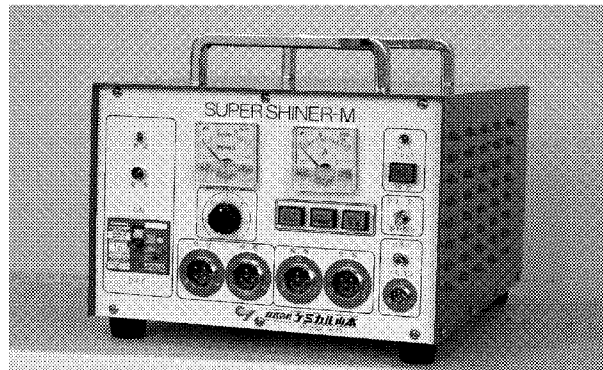
耐塩素孔食性向上に! ウルトラ不動態化



JIS耐塩素孔食試験

〈200V、出力電流80Aの大容量・万能型電源器〉

新製品



スーパーシャイナー-M

従来の単なる酸素被膜による不動態化現象とは異なり、特定の元素を電解手法により表層部のみにとどまらず、ミクロ的内部にまで拡散させるもので、Cr、Ni、Fe等の合金元素と結合した被膜となって、特に耐塩素孔食性の飛躍的向上や、夢の応力腐食割れ防止に有効な事を立証済みの業界初*2件の特許権が成立しました。しかもこの手法は、この種のトラブルが集中的に発生する溶接部並びにその周辺部に適用する事により、優美な焼け取り効果と同時にそれぞれの効果を発揮する一石二鳥の優位性をお約束します。 ※当社調べ

進化する表面処理技術の総合展

表面改質展 2011

SURFACE STRUCTURE DESIGN SHOW 2011

会期 2011年5月25日(水)~27日(金)
会場 インテックス大阪(大阪市住之江区)

ステンレス用電解焼け取り法もここまで進歩!

特許権成立

夢のウルトラ不動態化とは



<http://www.chemical-y.co.jp>

■本社／〒731-5121 広島市佐伯区五日市町美鈴園17-5
■クリエイトセンター／〒738-0039 広島県廿日市市宮内工業団地1-10 TEL 0829-30-0887 FAX 0829-37-2770
■営業所／仙台・北関東・関東・横浜・静岡・名古屋・大阪・神戸・広島・九州

SUS 304にツヨクサを
技術相談専用フリーダイヤル 0120-304-243